

バイオマス利活用施設の概要

作成日：平成 19 年 11 月 9 日

作成者：(株) 廃棄物工学研究所

宇部セメント工場内廃木材破碎設備	
	【施設名称】 廃木材チップ燃料化設備
	【事業主体】 宇部興産株式会社
	【所在地】 宇部セメント工場 山口県宇部市大字小串 1978-7. TEL：0836-35-2813 FAX：0836-35-3149
	【運転開始年】 平成 16 年
原材料	建設廃木材、間伐材
生産物（種類）	廃木材チップ
利用方法	伊佐セメント工場（山口県美弥市）の自家発ボイラーの燃料の一部として使用
導入目的・経緯	県が進める森林バイオマスエネルギープランの一環として間伐材等の未利用森林資源や廃木材を自家発電用燃料の一部として利用することで、未利用資源を有効活用するとともに、化石燃料由来の二酸化炭素排出量の削減、発電コストの低減を図っている。
設備仕様	破碎設備 ボイラー投入設備
稼働状況	破碎設備：年間 300 日程度、14h / 日 実績処理量：建設廃木材、間伐材：4.5 万 t/年
経済性関連データ	
導入効果	ボイラー使用石炭量の 20% を削減 二酸化炭素排出削減量 5 万 t 弱/年の効果
運営上の課題	昨今のエネルギー事情から色々な業界からの参入が相次ぎ、木質バイオマス目標数量の確保が年々難しい状況になっている。
備考	NEDO：バイオマスエネルギー導入ガイドブック 画像： http://www.ube-ind.co.jp/japanese/news/2004/2004_09.htm